

# 園長室だより

令和元年度 第5号（9月30日発行）大阪市立立葉幼稚園長 岡林 朗子

2学期が始まりました！2学期は、運動会や作品展、園外保育など様々な行事があります。子どもたちも安定し、存分に自己發揮できるようになってきた2学期に様々な経験ができるよう、計画しています。その年齢の子どもたちに何に気づいてほしいのか、何を育てたいのかを考え、計画していますので、落ち着いてきた2学期は、行事が充実した学期になります。1学期の経験や昨年の経験が生かされるよう、子どもたちの姿をしっかりと見ながら、遊びを充実させていきます。

もうすぐ運動会です。子どもたちが遊びながら運動会を楽しむことには変わりはありませんが、ねらいを少し高めにし、5歳児なら、やってみよう！に取り組む時間を決めたり、みんなで太鼓のリズムを合わせたり、心も体も一つになって友達と頑張ることを目標にしたりします。また、4歳児も、友達と同じようなイメージをもちながら、今までの経験を生かし、友達と一緒に遊ぶことを目標にします。また、3歳児は、先生と一緒に活動することで安定し、友達に気づき、簡単なルールのある遊びが楽しいと思えるように援助します。その一部を今月は紹介します！

運動会当日、たくさんの拍手をいただくことで自信につながり、次への意欲になります。今から楽しみです！



3歳児はまず、先生と1対1の安定からです。そして、トラブルを通して順番を守ることが必要だと学び、順番を守れるようになります。



5歳児が鉄棒に取り組んでいる姿をみて、3歳児もまねっこしています。“あこがれ”から“真似”遊びになり、つながっていきます。



昨年のもも組は、運動会後、ゆり組の真似をしてリレーをしていました。もちろんルールなどなくエンドレスリレー。勝敗もなくチームもわからず遊んでいました。

右の写真(⇒)は今年のばら組のタッチリレーです。その経験から今年の運動会は、スクーターリレーをします！



現在のゆり組は昨年のばら組のとき、綱遊びをしています。友達と綱を引く、力比べの遊びから始まり、勝敗がついたり、友達を助けてたり、人数を合わせたり、何とか自分たちで工夫して遊んでいました。そして、今年になり、運動会で短綱の競技をします。子どもたちの遊びはまずルールがあるのではありません。遊んでいくうちに、自然とルールが生まれ、守らないと楽しくないことを知るのです。だから、ルールを守れるようになるのです。



6月に“怒”的太鼓演奏を聴いている時の子どもたちの楽しそうな姿を見て、職員は何とか、太鼓を！と、“怒”的谷本さんのお声掛けもあり、第一保育所や第五保育所にお借りすることができました！また、保護者も、太鼓を持ってきて下さり…。本当に感謝の気持ちしかありません。

また、塩草立葉小学校から、バチや太鼓の台もお借りしています！

運動会では皆さんの温かいお気持ちがいっぱい詰まった太鼓のオープニングをお楽しみにしてください。当日、もも組は太鼓をたたきませんが、たたく経験は幼稚園でしています！